

明神小だより

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.3 令和8年6月4日

令和8年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子供の育成」
～楽しく・面白く・『やってみたい』を『やってみよう』へ～

運動会を終えて

5月30日（土）、さわやかな青空のもと、令和8年度の運動会を無事に開催することができました。今年のスローガンは、「全力・笑顔・感謝を胸に 心を一つにめざせ優勝」。子供たちはどの学年もそのスローガンを体で表すかのように、力いっぱい競技に取り組み、友達と心をひとつにしてがんばる姿をたくさん見せてくれました。一人一人が自分のもてる力を出し切り、精一杯挑む姿がとても印象的で、私たち職員一同、胸が熱くなる思いでした。

本校では、「楽しく・面白く・『やってみたい』を『やってみよう』へ」を合言葉に、日々の教育活動を進めています。運動会の練習でも、最初は「できるかな」と不安そうにしていた子供たちが、練習を重ねるうちに「やってみたい！」という気持ちへと変わり、当日は「やってみよう！」という行動へと結びついていく姿が随所に見られました。この小さな一歩の積み重ねこそが、子供たちの確かな成長の証であり、これからの学校生活への自信にもつながっていくと感じています。

今回は、スローガンにある「感謝」という言葉についても、少し考えてみたいと思います。運動会という大きな行事は、子供たちだけでは成り立ちません。競技に臨む子供たちを支えた友達の声援、係の仕事に責任をもって取り組んだ高学年の子供たち、そして当日を迎えるまでの長い練習を陰で支えてくださった保護者の皆様。そのすべての人への「感謝」があってこそ、運動会は輝くものになります。

「感謝」は、受け取るものではなく、気づくものだと思います。応援してもらっていること、支えてもらっていること、信じてもらっていること——そうした周りの思いに気づいたとき、子供たちは自然と「全力」で挑み、「笑顔」で仲間と心をひとつにすることができるようではないでしょうか。当日、子供たちの笑顔や真剣な眼差しの中に、まさにその「感謝」の気持ちが宿っているように感じました。

最後になりましたが、保護者の皆様には温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。また、親師会役員の皆様には早朝より準備・運営にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後とも、明神小学校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。